

2022 年度活動報告

(2022 年 4 月~2023 年 3 月)

(1)危険物等事故防止対策情報連絡会への参加

消防庁主催の令和4年度危険物等事故防止対策情報連絡会に危険物物流団体連絡協議会事務局として参加。

開催 第1回 2022年9月：コロナ禍により書面審議にて実施

第2回 2023年3月8日：対面開催

議題 (1)令和3年度中の危険物に係る事故状況等に対する意見のとりまとめ
(2)各団体における今年度の事故防止に関する取組状況に関して報告
(3)その他

結果につきましては、添付 令和5年3月17日発出、消防危第59号にて報告されております。

(2)危険物輸送の動向等を踏まえた安全対策の検討会への参加

当協会は令和3年度から引き続き上記検討会に参加しております。その中に於いて、当協会から申し入れておりました仮貯蔵期間の延長、移動タンク貯蔵所の取り扱いの簡素化も取り上げられています。

当協会事務局では、消防庁で実施された検討会へ参加するとともに個別の事前協議を数回実施するなどして通達発出に関する準備に協力してまいりました。その結果令和4年度の活動目標に掲げました下記の2件について成果がありました。

1) 仮貯蔵期間の延長について制限付きではあるものの認められることとなりました。

→消防危第275号

2) タンクコンテナを港頭地区等に保管する際の各種取り決めを策定することについて

→消防危第277号

いずれも令和4年12月13日発出

当協会ホームページでも案内のとおり、第4回（令和4年度）までの議事は消防庁ホームページで公開されております。令和4年10月17日での第4回検討会をもっていったん結論とし、移動タンク貯蔵所の取り扱い簡素化につきましては、引き続き検討課題となっております。

(2)危険物UN対応部会

国連の「危険物の輸送並びに化学品の分類および表示に関する世界調和システム」に関する専門家委員会の下部に位置する、危険物輸送に特化した小委員会として、国連危険物輸送専門家委員会があります。この委員会で検討された各国並びに各種団体から提出された提案は、IMDG コードの改正等に反映されます。日本では日本海事検定協会殿の安全技術室が事務局となり、国連の危険物輸送専門委員会に参加して提案を行っています。危険物UN 対応部会は、危険物等海上運送国際基準検討委員会が開催する部会で危コン協の事務局が参加し、情報収集に努めています。

22年6月8日

2022年度第1回危険物UN対応部会参加

第60回国連危険物輸送専門家小委員会（2022/6/27～7/6開催）の日本及び各国からの
提案事項について協議

22 年8 月25 日

第2回危険物UN対応部会参加

第60回国連危険物輸送専門家小委員会（2022/6/27～7/6開催）の
会合議事概要について協議 → UN 2022-2-2 第60回議事概要

例 1 ジシランの国連番号策定：採択されたが指摘事項が課題

例 2 TMAHの分類見直し：

PGIの分類基準が検討の必要あり移行期間も考える必要あり

（PGIの閾値8.75%も指摘があった）

問題点の抽出を行い新しい提案を準備

国内のメーカーが輸入して日本で調整して輸出している、かなりの影響があると報告あり

8.75%の閾値もしっかりとしたデータではなく現段階でそれを適用するのは適切ではないと判断

オランダの専門家が指摘事項を再検討して次回会合に新たな提案を準備

例 3 UN3082の少量の環境へ有害な塗料の輸送要件：取り下げ 再検討

例 4 UN1040 ETHYLENE OXIDEのUN CLASS8の追加：詳細なデータ不足 再検討

例 5 CLASS2.2の圧縮ガスの少量危険物許容量拡大：データ不足により再検討

例 6 UN100溶解アセチレン UN3374アセチレン（溶媒含まないもの）P200の修正：

他の修正箇所もあり再検討

22 年8 月30 日

第1回危険物運送要件部会

IMO・CCC小委員会第34回編集・技術作業部会（E&T 34）審議結果概要協議

第7回貨物運送小委員会（CCC 7）への対応について検討

例 1 海上遺失コンテナの位置確認、追跡及び回収を強化するための当該コンテナの探知と

報告義務に関する措置の策定

例 2 アンモニアを燃料とする船舶の安全性に関するガイドラインの策定

例 3 液化水素のバルク輸送に関する暫定勧告の改訂

22 年11 月14 日

第3回危険物UN対応部会参加

第61回国連危険物輸送専門家小委員会(2022/11/28~12/6開催)の

日本及び各国からの提案事項について協議

例 1 UN1950エアゾールとUN2037小型ガスボンベの区別

例 2 UN1040 酸化エチレンのSUB CLASS8追加提案

23 年1 月17 日

第4回危険物UN対応部会参加

第61回国連危険物輸送専門家小委員会 (2022/11/28~12/6開催) の

会合議事概要について協議

例 1 TMAH(水酸化テトラメチルアンモニウム)の分類の見直し)

・25%以上の濃度についてPGIの新設

・TMAH (水酸化テトラメチルアンモニウム)の新エントリーは以下のとおり

1835	TETRAMETHYLAMMONIUM HYDROXIDE AQUEOUS SOLUTION with not less than 25 % tetramethylammonium hydroxide	6.1	8	I	279 408 409	0	E5	P001		T14	TP2
------	--	-----	---	---	-------------------	---	----	------	--	-----	-----

猶予期間：2026年12月31日まで

例 2 リチウム電池で動く車両に適用する新国連番号

(3)講習会

22 年4 月13 日 JTТА主催オンライン勉強会に参加

講師：総務省消防庁 消防研究センター 施設等災害研究室長 畑山健 様

「屋外タンクの地震・津波被害および対策について」というテーマで講義頂き、当協会からは39名が参加いたしました。

(4)危険物施設の視察、研修

新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(5)日本危険物物流団体連絡協議会幹事、事務局会議他

23 年4 月11 日 日本危険物物流団体連絡協議会 理事会

- ①各協会役員変更の確認を実施。
- ②会則(案)変更についての決議。賛成多数で可決。
- ③2024年の賀詞交歓会の開催方について議論を実施。対面開催を予定することとした。
- ④勉強会共同開催についての議論

(6)理事会

22 年5 月26 日 理事会開催

22年の総会開催方についての審議の結果、書面開催に決定。

22 年12 月06 日 第38回理事会開催 書面審議

- ①新規入会について (Raffles Lease様)、ユーロテナージャパン佐藤様よりご紹介。

- ②2023年賀詞交歓会は実施せず、代わりの会合を4月頃に予定することで決定。
- ③「第4回関西物流展/第2回物流機器開発展」へ協力要請があった為本年も協賛することで決定。
- ④来年度活動計画にESGに関する取組みを加えることについて事務局より提案。

(7)総会

22年10月10日 第25回書面審議

21年度の活動報告、会計報告、22年度の活動計画案について承認

(8)賀詞交歓会（危物協）

新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(9)親睦会

新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止